

水系1液高レベリング床用ウレタンクリヤー〔内部用 準外部用〕

IP水性フロアクリヤーU (艶有り・3分艶・5分艶調整)

特 長

抜群の仕上がり面

ウレタン樹脂を主成分とすることで、水系クリヤーのイメージを一新する驚異のレベリング性により、高い平滑面の仕上がりが可能です。また、他社の水系クリヤーに比べて乾燥後の透明性が高く、濡れ色になりにくい特性もあわせ持ち、素地の風合いを活かしたクリヤー仕上げに最適です。

豊富な艶のバリエーション

艶のバリエーションとして、艶有りと3分艶をご用意していますので、幅広いニーズに対応いただけます。さらに、5分艶調整[※]についても調整いたします。※別途調整料が必要となります。

優れた耐摩耗性・耐汚染性

強靱な塗膜を形成することにより、ヒールマーク等の擦り傷防止効果に優れます。また、塗膜表面のベタツキを抑えることで、抜群の耐汚染性を発揮します。

無公害水系クリヤー

環境面においては、トルエン・キシレン・鉛・クロムなどの有害物質を全く含まず、また強溶剤系・弱溶剤系塗料と比べ、塗装中および塗装後の溶剤臭などについても大幅に軽減し、安心してご使用いただけます。

塗膜性能試験

試験項目	試験結果		試験方法
	艶有り	3分艶	
光沢 (%)	83~86	9~13	鏡面光沢度 G60*
硬 度	H	2H	鉛筆硬度
耐 摩 耗 性	0.24	0.29	テーバー型試験機 (1kg 500回)
滑り係数	乾燥状態	1.2	JIS A 1454 すべり抵抗性(C.S.R) [†] 履物の場合 0.4以上 素足の場合 0.7以上
	湿潤状態	0.9	
耐 水 性	○	○	水道水に96時間浸漬
耐アルカリ性	○	○	飽和水酸化カルシウムに7日間浸漬
灯油・マシン油 5%塩酸水 2%カセイソーダ水	○	○	接触法耐性 120時間放置
コーヒー・ソース 醤油・食酢 食器用洗剤	○	○	汚染除去性 96時間放置

※日本塗料検査協会 試験

IP水性フロアクリヤーU 仕様書

■コンクリート・モルタル(床面)、新設および塗り替え 標準施工仕様書

(20℃ RH65%)

工 程	使 用 材 料	希 釈 率	塗 布 量	塗 装 方 法	乾 燥 時 間
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ、ホコリ、油脂類などの付着物は適切な除去方法を用いて、除去物も含め十分に除去してください。(水洗浄の場合、24時間以上放置し乾燥確認) ・表面にレイタンスなどの脆弱層がある場合は密着不良を起こしますので、ポリッシャーなどの適切な除去方法を用いて完全に除去し、必ず事前に試験塗りにて密着、仕上がり感など問題のないことを確認してください。 ・新設のコンクリートはpH10以下、含水率5%以下になるまで養生放置(約4週間以上)してください。 				
シーラー	IP含浸シーラー	原液使用	0.12~0.15kg/m ²	ハケ・ローラー (スプレー)	2時間以上
下塗り	IP水性フロアクリヤーU(艶有り)	5~10% (清水)	0.08~0.12kg/m ²	ハケ・ローラー (スプレー)	5時間以上
上塗り	IP水性フロアクリヤーU(各艶)	5~10% (清水)	0.08~0.12kg/m ²	ハケ・ローラー (スプレー)	5時間以上 (開放)

(注) IP製品(床材)のトップコートにIP水性フロアクリヤーUを使用する場合は、各種仕様に従って、塗装を行った後に施工してください。

(注) 3分艶・5分艶調整仕上げの場合は、下塗りに艶有りクリヤーを施工してください。

(注) クリヤー塗膜表面から水分などの影響を受ける箇所や耐水性の低い塗膜への塗装、またサビ汁の影響を受ける箇所への塗装はお避けください。

(注) 表面にワックスなどの特殊な処理を施している場合は、専用のハクリ剤とポリッシャーを併用するなど、適切な方法を用いて完全に除去してください。

■木部(床面)、新設および塗り替え 標準施工仕様書

(20℃ RH65%)

工 程	使 用 材 料	希 釈 率	塗 布 量	塗 装 方 法	乾 燥 時 間
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ、ホコリ、油脂類などの付着物は適切な除去方法を用いて、除去物も含め十分に除去してください。(水洗浄の場合、24時間以上放置し乾燥確認) ・サンドペーパー#180~#240で研磨し表面を整えてください(研磨粉は十分に除去、洗浄)。 ・試験塗りをを行った後に、木のアク・ヤニ・シミの発生がある場合は十分に除去し、シーラー処理としてIP含浸シーラー^{※1}をご使用ください。また、既存塗膜がある場合もIP含浸シーラー^{※1}をご使用ください。 				
下塗り	IP水性フロアクリヤーU(艶有り)	5~10% (清水)	0.08~0.12kg/m ²	ハケ・ローラー (スプレー)	5時間以上
上塗り	IP水性フロアクリヤーU(各艶)	5~10% (清水)	0.08~0.12kg/m ²	ハケ・ローラー (スプレー)	5時間以上 (開放)

(注) 木材の種類、及び吸込みの状況によっては塗り回数が増える場合があります。

(注) IP製品(床材)のトップコートにIP水性フロアクリヤーUを使用する場合は、各種仕様に従って、塗装を行った後に施工してください。

(注) 3分艶・5分艶調整仕上げの場合は、下塗りに艶有りクリヤーを施工してください。

(注) クリヤー塗膜表面から水分などの影響を受ける箇所や耐水性の低い塗膜への塗装、またサビ汁の影響を受ける箇所への塗装はお避けください。

(注) 表面にワックスなどの特殊な処理を施している場合は、専用のハクリ剤とポリッシャーを併用するなど、適切な方法を用いて完全に除去してください。

※1 IP含浸シーラーは、原液使用にて1回塗り(0.12~0.15kg/m²)。

仕様書

■ コンクリート・モルタル面、新設および塗り替え 標準施工仕様

(20℃ RH65%)

工程	使用材料	希釈率	塗布量	塗装方法	乾燥時間
素地調整	・ゴミ、ホコリ、ワックス、油脂類などの付着物は適切な除去方法を用いて、除去物も含め十分に除去してください。 (水洗浄の場合、24時間以上放置し乾燥確認) ・新設のコンクリートはpH10以下、含水率8%以下になるまで養生放置(約4週間以上)してください。				
シーラー	IP含浸シーラー	原体使用	0.12~0.15 (kg/㎡)	ハケ・ローラー (スプレー)	2時間以上
下塗り	IP水性フロアクリヤーU(艶有り)	5~10% (清水)	0.08~0.12 (kg/㎡)	ハケ・ローラー (スプレー)	5時間以上
上塗り	IP水性フロアクリヤーU(各艶)				5時間以上(開放)

(注) IP製品(床材)のトップコートにIP水性フロアクリヤーUを使用する場合は、各種仕様に従って、塗装を行った後に施工してください。
 ただし、可塑剤の影響を受ける基材に対してのご使用はお避けください。
 (注) 3分艶・5分艶調整仕上げの場合は、下塗りに艶有りクリヤーを施工してください。

■ 木部(床面)、新設および塗り替え 標準施工仕様

(20℃ RH65%)

工程	使用材料	希釈率	塗布量	塗装方法	乾燥時間
素地調整	・ゴミ、ホコリ、ワックス、油脂類などの付着物は適切な除去方法を用いて、除去物も含め十分に除去してください。 (水洗浄の場合、24時間以上放置し乾燥確認、木材においては含水率15%以下) ・サンドペーパー#180~#240で研磨し表面を整えてください(研磨粉は十分に除去、清浄)。 ・試験塗りを行った後に、木のアク・ヤニ・シミの発生がある場合は十分に除去し、シーラー処理としてIP含浸シーラー※1 をご使用ください。また既存塗膜がある場合もIP含浸シーラー※1をご使用ください。				
下塗り	IP水性フロアクリヤーU(艶有り)	5~10% (清水)	0.08~0.12 (kg/㎡)	ハケ・ローラー (スプレー)	5時間以上
上塗り	IP水性フロアクリヤーU(各艶)				5時間以上(開放)

(注) 木材の種類、及び吸込みの状況によっては塗り回数が増える場合があります。
 (注) 3分艶・5分艶調整仕上げの場合は、下塗りに艶有りクリヤーを施工してください。
 ※1 IP含浸シーラーは、原体使用にて1回塗り(0.12~0.15kg/㎡)。

■ 施工についての注意事項

- ◆ 施工前に本製品が用途・要望・現場の状況に的確であることを十分に確認の上、施工を行ってください。ご不明な点については、お問い合わせください。
- ◆ 素地調整は必ず念入りに行ってください。
- ◆ 必ず事前に試験塗りにて仕上がり感、密着、水勾配によるレベリング性の影響、水などの溜まりなど問題のないことを確認してください。また塗装中、塗装後、および塗料の取り扱い作業時は、換気を十分に行ってください。
- ◆ 可塑剤が多く含まれる塩ビ素地、シーリング材など、またはそれらが接触する箇所への塗装はお避けください。
- ◆ 上記仕様書は標準的な施工仕様書です。希釈率、塗布量、および施工面積は塗装条件により異なります。また一度に記載塗布量を超えての厚塗りはしないでください。
- ◆ 準外部においては降雨・強風が予想される日、気温5℃以下(表面温度が5℃以下)、湿度85%以上の場合は塗装をお避けください。また夏期の炎天下などは素地表面の温度が高いため、塗膜乾燥が早まり、塗膜本来の優れたレベリング性能などを阻害する恐れがありますので、希釈率を調整したり朝方など涼しい時間帯の施工をお奨めします。
- ◆ 乾燥後、約1週間で本来の塗膜性能を発揮しますので、乾燥後すぐに物を置かないでください。
- ◆ 冬期などの気温が低い現場では、乾燥時間が倍以上かかる場合がありますので、乾燥放置・換気を十分に行ってください。
- ◆ 各工程において施行面にホコリ、黄砂などの粉塵が飛来していないか十分に確認し、飛来している場合は除去、水洗いを行ってください。
- ◆ コンクリート・モルタル面、および既存塗膜の塗り替えの場合はシーラー工程を必ず行ってください。また、IP含浸シーラーはカチオン系ですので他の塗料と混合したり塗装器具を洗浄せず共用しないでください。(ゲル化します)
- ◆ コテ磨きなど密度の高い未塗装のコンクリート・モルタル面、強化コンクリート、着色コンクリート(カラーコンクリート)など特殊な素地への塗装は避けください。また、既存塗膜の種類(ウレタン樹脂系、エポキシ樹脂系、弾性系塗料など)によっては、密着・ワレなどに影響する場合がありますので、試験塗りにて密着や塗膜の状況を確認してください。
- ◆ ローラー塗装の場合は無泡ローラー、ハケ塗装の場合はナイロンハケ(水性ハケ)をお奨めいたします。スプレー塗装の場合はオーバー・スプレーや周囲への飛散に十分留意してください。
- ◆ 塗装方法により希釈率を調整してください。尚、規定量を超えますと塗膜性能の低下などの原因となります。また、極端な膜厚の差には注意して、均一な膜厚になるよう施工してください。艶ムラの原因となります。
- ◆ 内容物が均一になるようによく攪拌してからご使用ください。(泡が入らないように攪拌してください)
- ◆ 施工後、4~5時間は降雨、降雪、結露(夜露)に十分注意してください。
- ◆ クリヤー塗膜裏面から水分など影響を受ける箇所、またサビ汁の影響を受ける箇所への、塗装はお避けください。
- ◆ 表面にワックス処理を施している場合は、水系ワックス用ハクリ剤など適切な方法を用い、完全に除去してください。
- ◆ 軽車両・人などが頻りに往来する箇所については、事前に試験塗りにて塗膜適正を確認してください。また、3分艶・5分艶調整仕上げの場合は、下塗りに艶有りクリヤーを施工してください。
- ◆ 保管は、直射日光や雨ざらしは避け、気温40℃以上、0℃以下の状態に長時間置かないでください。また、開缶後はなるべく早めにご使用ください。
- ◆ 本チラシの記載内容についてご不明な点、または記載内容以外についてはお問い合わせください。

□ 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシートをご参照ください。

代理店名

IP インターナショナルペイント株式会社

本社・工場 〒760-0080 香川県高松市木太町3072番地
 TEL 087-833-3525 / FAX 087-833-3527
 関東支店 〒330-0834 さいたま市大宮区天沼町2-952
 TEL 048-644-3528 / FAX 048-643-5291
 関西支店 〒537-0024 大阪市東成区東小橋3-6-13
 TEL 06-6978-6855 / FAX 06-6978-6856
 九州出張所 〒814-0174 福岡市早良区田隈1-14-1
 TEL 092-836-5090 / FAX 092-836-5091